

七福神巡り

七福神漬

正月は年末からの暴飲暴食がたたり体重オーバーになりがちです。年明けとともに歩き回り参拝し、心身ともにリフレッシュするには七福神参りがおすすめです。

山手七福神⇒都内には数多くの七福神がありますが、元祖といえるのが目黒から白金にかけて散在する山手七福神のようです。以下目黒区ホームページ「歴史を訪ねて」からの引用です。

七福神もうで

なかきよの とおのねふりの みなめさめ なみのりふねの おとのよきかな

この歌は、上から読んでも、下から読んでも同じ文句になる「廻文(かいぶん)」。江戸時代には、初夢を見るための作法として、宝船に乗った七福神の絵にこの歌を書き添えたものを、枕の下に敷いて寝るならわしがあり、宝船の絵を売り歩く商人の姿が、元日の風物詩のひとつであった。

七福神は、福德の神として信仰される神様で、ふつう、夷(えびす)(恵比寿)、大黒天、布袋(ほてい)、福祿寿(ふくろくじゅ)、毘沙門天(びしゃもんてん)(毘舎門天)、弁才天(弁財天)、寿老人(じゅろうじん)の七神をいう。

毘沙門天、大黒天は、仏法守護の戦闘の神。弁財天は、音楽・弁才などをつかさどる女神で、いずれもインドで信仰されていたものが、仏教伝来とともに日本に入り、平安時代から福德施与の神としてあがめられるようになった。福祿寿・寿老人は、中国の延命長寿の神、布袋は、中国五代の後梁(ごりょう)の禅僧契此(かいし)の福々しい姿を写したといわれる。恵比寿は、もとは海辺漁民に信仰されていたが、転じて海運守護や商業繁栄の神として、中世にはひろく信仰されるようになった。

このように七福神は、インド・中国・日本の神仏の寄せ集めで、現世利益を念じる町人たちが、七という聖数に合わせてまとめたものらしい。室町時代の応永27年(1420年)には、七福神をかたどった風流行列が伏見で行われた記録がある。

正月の七福神巡拝のならわしは、江戸時代後半、文化文政のころ、当時の風流人たちが、天下太平の春の行楽と郊外散策をかねて行ったのが始まりとか。その後、七福神にまつわる福の神をまつた社寺を組み合わせて、各地に七福神巡りコースができ、江戸庶民の楽しみのひとつとなった。中でも有名なのは、狂歌師太田蜀山人が「**恐れ入谷の鬼子母神**」と詠んだ真源寺をはじめとする隅田川七福神。他に谷中七福神、亀戸七福神などがある。

目黒から芝白金にかけての山手七福神が、いつごろできたのか定かではないが、天保9年(1838年)発刊の「東都歳事記」には、既に次のような記録がある。

- 毘沙門 二本榎細川侯御やしき前
- 布袋 白金瑞聖寺天王殿
- 寿老人 白金妙円寺妙見堂の内

- 福祿寿 白金妙円寺妙見堂の内
- 弁天 目黒蟠龍寺窟
- 愛比寿 目黒不動尊境内
- 大黒 目黒不動尊境内

現在は、大黒天が大円寺、毘沙門天が覚林寺に代わり、目黒駅をはさんで、目黒区に3神、港区に4神の福の神が鎮座ましましてい

る。山手七福神は、お参りをしながら、ゆっくり歩いても1時間ちょっとの手ごろな距離。ご家族連れでぜひどうぞ。

七福神の開帳期間や御朱印などについては直接各寺社へお問い合わせください。

と言うわけで正月7日、友人と行きましたが、こちらの特徴として白金方面の清正公から巡ると無病息災、目黒方面からは商売繁盛のご利益があるそうです。

まずは毘沙門天を祀った清正公(覚林寺)。清正公とは虎退治や熊本城を建てた加藤清正のこと。城を引き継いだ細川家との縁で細川忠利が尊敬かつ大好きだったのが清正公。そのため細川氏ゆかりの地に祀っているようです。この地は細川藩中屋敷跡で、中央区日本橋浜町2丁目の浜町公園内にある清正公寺は下屋敷跡とか。また俳優の高橋英樹氏はこちらに墓を建てました。

ついでに近くの八芳園は大久保彦左衛門の屋敷跡で、白金2丁目にある立行寺には一心太助ともども墓があります。

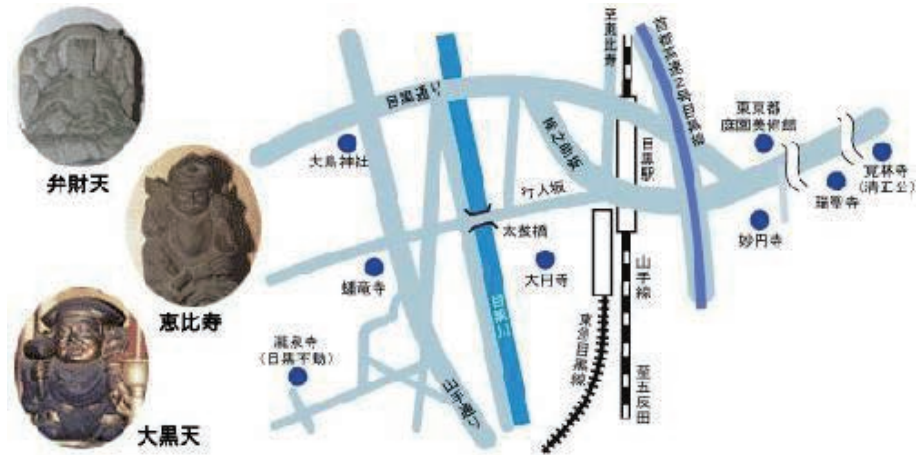
次に訪れたのは布袋様を祀った瑞聖寺。ここは広々として美しい佇まいの素敵なお寺でした。一步表通りから入ると都会とは思えない静寂と空間がそこにはありました。

途中、あの80年代隆盛を極めた「目黒エンペラー」が目に入るのが無粋ですが、そうこうするうちに参拝、御朱印をいただく時間も含めて4、50分ほどで恵比須様のある目黒不動こと瀧泉寺に。こちらも東急線の駅名になっているくらいで素晴らしいお寺です。

参拝を終えると達成感があるのですが、そのあと当然飲み会です、痩せられません。

荏原七福神

そんな江戸時代から続く伝統にも新しい波が。品川区にある荏原七福



山の手七福神のある寺社



清正公(毘沙門天・清正公の覚林寺)



目黒不動尊(瀧泉寺)



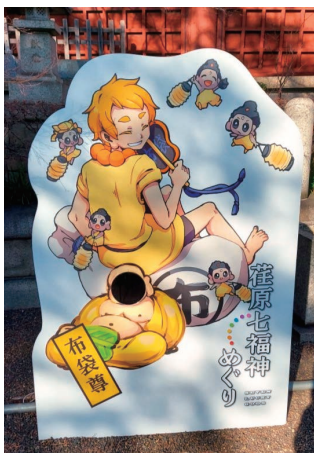
福祿寿(大井蔵王権現神社)
顔はめ看板



弁財天(蛇窪神社)



毘沙門天(不動院・東光寺)



布袋尊(養玉院・如来寺)



恵比寿(法蓮寺)



大國天(小山八幡神社)、寿老人(摩耶寺)

神は、「もうひとつの七福神めぐり」と題し、東急電鉄とコラボ。駅でスタンプ台紙を配布したり1月限定のキャラクター御朱印がいただけたりと何やら楽しそう。

6日、寺社巡りは朝早いほうが良いと思い9時20分ころ大井蔵王権現神社についたところ社務所は閉まっていました。10時に開きますと参拝者の方から聞き、時間をつぶそうと周りを見渡せば牛井屋さんが2軒。痩せようとして歩いているのにこれはやばい！と思いましたが寒いので、すき家に入り調理に時間がかかりそうなトロ〜り3種のチーズ牛井をチョイス。だめだこりゃ(笑)。

途中の蛇窪神社には大勢の参拝客がいて1時間以上待つことに。おかげさまで先ほどの牛井パワーで乗り切ることができました。ちなみにこちらは岩国、群馬県沼田市と並び白蛇日本三大聖地だそうです。また、白蛇大神と蛇窪龍神とが一緒に祀られていることから、辰年には大勢の方がいらっしゃるそうです。

そして行く先々にはキャラクターの顔はめ看板が設置されており、地元沿線では結構盛り上がっているようでした。小学生の女の子が母親とスタンプ台紙を抱えて歩いていたりと、他とは様相が違いました。

皆さんもぜひお正月にお詣りしてみませんか。1月7日までしか御朱印をいただけない寺社もあるので調べてからがよろしいかと思います。